

小児用バクシダール錠 50mg

【この薬は？】

販売名	小児用バクシダール錠 50mg BACCIDAL Tablets for Children 50mg
一般名	ノルフロキサシン Norfloxacin
含有量 (1錠中)	50mg (ノルフロキサシンとして)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系経口抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製にかかわる酵素を阻害することにより、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

- 表在性皮膚感染症、慢性膿皮症
- 咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎
- 膀胱炎、腎盂腎炎
- 感染性腸炎、腸チフス、パラチフス
- 炭疽、野兔病

<適応菌種>

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、炭疽菌、大

腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、緑膿菌、野兔病菌、カンピロバクター属

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、一回分を減らしたりしないでください。指示通りにきちんと飲まないと、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

〔この薬を使用する全ての人に共通〕

- ・過去に小児用バクシダール錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・フェニル酢酸系（フェンブフェン等）又はプロピオン酸系（フルルビプロフェンアキセチル（ロピオン）、フルルビプロフェン（フロベン）、エスフルルビプロフェン・ハッカ油（ロコア）等）の非ステロイド性消炎鎮痛剤を使用している人
- ・新生児や乳児

〔炭疽、野兔病以外に使用する人〕

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどのけいれん発作のあった人
- ・重症筋無力症の人
- ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群など）のある人
- ・腎臓に高度の障害がある人
- ・炭疽、野兔病に罹患している人で、妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬〔フェニル酢酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤：フェンブフェン等、プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤：フルルビプロフェンアキセチル（ロピオン）、フルルビプロフェン（フロベン）、エスフルルビプロフェン・ハッカ油（ロコア）等〕や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

[腸チフス、パラチフス以外に使用する人]

一回量	体重 1kg あたり 2～4mg
飲む回数	1 日 3 回
飲む日数	原則として 7 日以内

[腸チフス、パラチフスに使用する人]

一回量	体重 1kg あたり 5～6mg
飲む回数	1 日 3 回
飲む日数	14 日間

患児の体重に応じた飲む量と回数はおおよそ次のとおりです。

体重	投与量
15～22kg	1 回 2 錠
23～31kg	1 回 3 錠
32～40kg	1 回 4 錠
41～49kg	1 回 5 錠

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより、画像検査が行われることがあります。
- ・炭疽、野兔病以外に罹患している人で、妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・炭疽、野兔病に罹患している人で、妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・高齢の人は、腱障害があらわれやすいので、腱周辺の痛み、浮腫、発赤等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー (呼吸困難、胸内苦悶等) アナフィラキシー（こきゅうこんなん、きょうないくもんなど）	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
ギラン・バレー症候群 ギラン・バレーしょうこうぐん	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、階段を昇れない、物がつかみづらい、物が二重に見える、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉がまひする、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しい
重症筋無力症の増悪 じゅうしょうきんむりょくしょうのぞうあく	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい
アキレス腱炎、腱断裂等の 腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、足関節を曲げにくい、足関節を伸ばしにくい、つま先立ちの動きができない
血管炎 けっかんえん	発熱、手足のしびれ、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍（皮膚に穴ができた状態）


重大な副作用	主な自覚症状
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、激しい腹痛、下痢、嘔吐
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、腹痛、胸の痛み、背中での痛み
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中での痛み、激しい腹痛
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、発熱をしばしば伴う、むくみ、体がだるい、顔や手足の筋肉がぴくつく、脱力感、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる、けいれん、食欲不振
頭部	めまい、意識の消失、一時的にボーっとする、意識の低下、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、頭痛
顔面	顔面蒼白、顔の筋肉がまひする、血の気が引く
眼	目の充血やただれ、物が二重に見える、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、白目が黄色くなる
口や喉	喉のかゆみ、唇や口内のただれ、食べ物が飲み込みにくい、吐き気、咳、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、嘔吐
胸部	動悸、息苦しい、呼吸が苦しい、息切れ、胸の痛み、激しい胸の痛み
腹部	腹痛、お腹がすく、激しい腹痛、お腹が張る

部位	自覚症状
背中	背中痛み、激しい背中痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、手足の感覚が鈍くなる、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、足関節を曲げにくい、足関節を伸ばしにくい、つま先立ちの動きができない、手足のしびれ、手足のこわばり、手足のふるえ、物がつかみづらい
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍（皮膚に穴ができた状態）、皮膚が黄色くなる
筋肉	階段を昇れない、筋肉の疲労感、筋肉の痛み
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、下痢
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

販売名	小児用バクシダール錠 50mg
形状	円形のフィルムコーティング錠 
直径	5.6mm
厚さ	2.8mm
重さ	70mg
色	白色～微黄色
識別コード	KP-111

【この薬に含まれているのは？】

販売名	小児用バクシダール錠 50mg
有効成分	ノルフロキサシン
添加剤	結晶セルロース、カルメロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：杏林製薬株式会社 (<https://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

くすり情報センター

電話：0120-409-341

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・会社休日を除く）